

速度取締指針

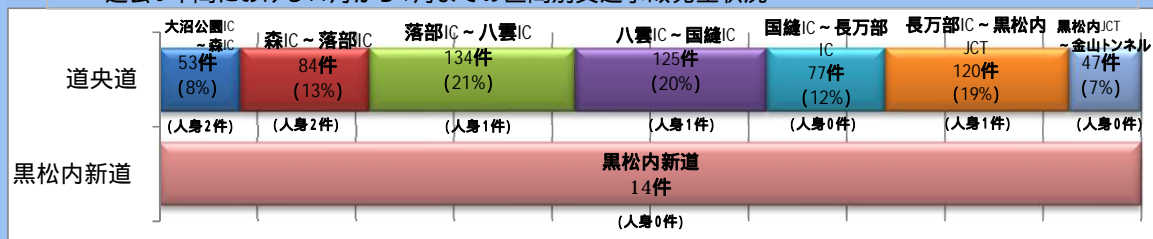
函館方面本部交通課 高速道路交通警察隊速度取締りの重点

路線	区間	規制速度
道央道	落部IC～国縫IC	70km/hと80km/hが混在
	長万部IC～金山トンネル	

重点路線・区間以外であっても、取締りを行います。

函館方面本部交通課 高速道路交通警察隊管内における交通事故実態

過去5年間における11月から4月までの区間別交通事故発生状況



函館方面本部交通課高速道路交通警察隊の管轄する道央道は、『金山トンネルから大沼公園ICまでの約104.2km』で、非分離暫定2車線の区間が多く、速度規制も大半が70km/hで一部区間に80km/hが混在している路線となっています。

黒松内新道は黒松内JCTから黒松内ICまでの約4.8kmで、全線非分離暫定2車線の速度規制が70km/hの路線となっています。

過去5年間の11月から4月までの区間別交通事故発生状況は、上記グラフのとおり道央道では640件、黒松内新道では14件発生しています。

物件事故については、ほとんどがガードレールや道路中央部のガードロープ等と衝突する単独の事故です。管内で発生した事故の大半が、前方を注視し制限速度をしっかりと守っていれば、事故を回避できた可能性が高かったものです。

速度オーバーは危険を認知した際に止まりきれないだけでなく、衝突した際の衝撃や負傷の程度も大きなものになりますので、速度違反の取締りを強化し、交通事故の抑止を図ります。

〔令和7年5月～令和7年10月末までの交通事故発生状況〕

- ・ 道央道で107件(人身事故0件、物件事故107件)、黒松内新道で6件の物件事故が発生しています。
- ・ このうち約9割が道路施設(ガードレール・中央分離帯など)に衝突した事故です。
- ・ 漫然運転、前方不注視が原因の事故が多いです。

その他の交通指導取締りの要点

飲酒運転の取締りを強化しています。

令和7年5月から令和7年10月末までの速度違反取締り重点と取組状況

重点路線・区間を中心に速度違反取締りを実施した結果、期間中の交通死亡事故の発生はありませんでした。